コンクリート・鉄筋工事施工結果報告書

**2022年度版**

（中間検査・完了検査申請書第四面の補完資料）

　　年　　　月　　　日

（あて先）川崎市　建築主事

|  |  |
| --- | --- |
| 建築主住所　氏名 | 住所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名： |
| 報告者 | ・工事監理者・建築士事務所の住所及び名称 | （　　　）級建築士　（　　　　　　）登録　第（　　　　　　　　）号　　氏名　：　 |
| （　　　）級建築士事務所　（　　　　　　　　）登録第（　　　　　　）号 |
| 住所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名称： |
| 工事施工者住所会社名及び代表者名 | 建設業許可（　　　　　　　　）第　　　　　　　　　　号 |
| 住所： |
| 会社名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名： |
| 確認年月日　番号 | 　　　　年　　　　月　　　　日　　　　第　　　　　確・計　　　建築川崎市本　　　　　　　　号 |
| 工事名称 |  |
| 建築場所 | 川崎市　　　　　区 |

鉄筋・コンクリート工事の施工及び工事監理を行い、構造耐力上安全であることを確認したので報告します。以下の通り、鉄骨工事の施工及び工事監理を行い、構造耐力上安全であることを確認したので報告します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 使　　用　　材　　料 | レディーミクスト　　コンクリート | 製造会社・工場名 | 　 |
| ＪＩＳ表示認定番号 | 　 |
| セメント | 種類・製造工場 | 　 |
| 粗骨材 | 種類・産地・最大寸法 | 　 |
| 細骨材 | 種類・産地・塩分量(%) | 　 |
| 混和材 |  |
| 鉄筋 | 材質・種類 |  |
| 製造工場 |  |
| 大臣認定品の使用　　〔 有（名称　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ・ 無 〕 |
| ｽﾘｰﾌﾞ補強筋 | 大臣認定品の使用　　〔 有（名称　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） ・ 無 〕 |
| 検 査 ・ 　試 験 | 材料試験 | 鉄筋ミルシート　 |  有 ・ 無 　試験所名（　　　　　　　　　　 　　　　　　　　）  |
| 圧接継手部検査方法 | 試験方法　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 試験所名　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| コンクリート圧縮試験 | 試験所名　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| 塩化物量測定方法 |  |
| 各試験結果の合否 | 施工者確認 | 合　　・　　否 | 監理者確認 | 合　　・　　否 |
| **（注意）**１．材料試験は公的機関で実施することが望ましいですが、工事規模等により工事監理者が公的機関で行う必要があるか判断して下さい。２．鉄筋ミルシートが無い場合は、試験所名を記入して下さい。 |

（１）使用材料及び材料試験（製造工場が複数ある場合は、製造工場ごとに作成してください）

（２）コンクリート打設結果

**2022年度版**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 打　　設　　結　　果 | 打設部位 | 打設日 | Fc | Fq | Fm | 呼び強度 | 供試体養生方法 | 圧縮強度 | 空気量 | ｽﾗﾝﾌﾟ | 塩化物量 |
| (N/mm2) | (N/mm2) | (N/mm2) | (％) | （cm） | (kg/m3) |
| （記載例） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １F立上り２F床 | R99.11.11 | 36 | 36 | 39 | 40 | 標準養生 | 45 | 5.0 | 18 | 0.02 |
| ２F立上り３F床 | R99.22.22 | 33 | 33 | 36 | 36 | ｺｱ供試体 | 40 (91日) | 5 | 18 | 0.03 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **（注意）**１．上表中、Fcは設計基準強度、Fqは品質基準強度、Fmは調合管理強度を示します。２．圧縮強度は4週強度を記載して下さい。4週以外の材齢の場合は、強度の記載に材齢を()書きで併記して下さい。 |

（３）施工及び工事監理の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検査項目 | 合　　否 | 検　　　査　　　内　　　容 |
| 施工者 | 監理者 |
| 共通事項 |  |  | ①各部材の配置 |
|  |  | ②各部材の断面寸法、かぶり厚さ |
|  |  | ③鉄筋の材質、配筋の乱れ |
| 柱 |  |  | ①主筋の径、本数、位置、継手の状況 |
|  |  | ②帯筋の径、ピッチ、位置、フック形状 |
|  |  | ③最上階の柱頭主筋の止まり高さと定着の状況 |
| 梁 |  |  | ①主筋の径、本数、位置、継手の状況、定着の状況 |
|  |  | ②あばら筋の径、ピッチ、位置、フック形状 |
|  |  | ③貫通孔の位置、補強方法 |
| スラブ |  |  | ①主筋の径、ピッチ、位置、継手の状況、定着の状況 |
|  |  | ②隅部、開口の補強 |
| 壁 |  |  | ①縦筋及び横筋の径、ピッチ、位置、継手の状況、定着の状況 |
|  |  | ②開口の補強 |
|  |  | ③スリットの位置、形状寸法 |
| その他 |  |  | ①特殊な工法を使用した場合は、施工要領書等との照合 |

**（注意）**合否欄には、各検査の結果、支障がなかった場合は「合」を記入して下さい。また、工事監理者が最終的に構造上の安全性を確認できなかった場合は、「否」を記入して下さい。

（４）その他（工事監理の考察、施工者への指示事項等）

|  |
| --- |
|  |

**（注意）**この報告書は、当該工事完了後、完了検査申請時までに1部提出してください。また、中間検査対象建築物の場合は、特定工程に係る工事までの内容について、中間検査申請時までに中間検査チェックシートと合わせてこの報告書を1部提出してください。